

日本原子力学会シンポジウム

東京電力福島第一原子力発電所事故後の環境回復の取り組み
—除染の現状と低線量被ばくについて—

日 時：平成26年1月19日 13:00 ～ 17:00

場 所：コラッセふくしま多目的ホール

主 催：日本原子力学会 共催： 福島県

後 援：環境省福島環境再生事務所 協力：除染情報プラザ

参加者：約100名

内 容：

講演1 除染・廃棄物処理の進捗と課題 小沢晴司（環境省福島環境再生本部）

講演2 セシウムの土壌中の挙動及び構造と廃棄物処理 三倉通孝（クリーンアップ分科会／東芝）

講演3 放射線モニタリング(被ばく線量評価)と健康影響

竹安正則（放射線影響分科会／日本原子力研究開発機構）

講演4 福島第一原子力発電所の状況報告 山下和彦（東京電力）

講演5 福島県の取り組み(福島県の除染対策について) 遠藤浩三（福島県生活環境部除染対策課）

備考：それぞれの講演について資料が配付された。



【除染・廃棄物処理の進捗と課題、講演の様子】



【会場受講者の様子】